

# 大学におけるサイバーセキュリティのこれから

サイバー攻撃は多様化しており、その脅威はより深刻化しています。

サイバーセキュリティ基本法が2014年11月に成立し、大学をはじめとする教育研究機関も、自主的かつ積極的にサイバーセキュリティへの取組みが求められています。

本シンポジウムでは、大学が直面しているサイバー攻撃の脅威と、新しい時代のセキュリティ対策について、大学がどう取り組んでいくべきか、どのような基準で製品を選定すればよいかを考えます。

## 開催日時

2015年6月18日(木) 14:30~17:30

\*受付開始 14:15 (情報交換会 17:45~19:00)

## 参加費

参加費無料

※講演資料集は、CAUA会員は無料、会員外は¥1,000(資料集は希望者のみ)

※情報交換会は会費制(CAUA会員・大学教職員…¥1,000、その他…¥2,000)

## 定員

60名(事前申込み制)

※会場の都合上、CAUA会員と大学関係者の方を優先させていただきます。

## お申込方法

[Web] <https://ctc-form.jp/public/seminar/view/486>

[FAX] 所定のFAX申込書にご記入の上、CAUA事務局宛にFAX下さい

## 主催

CTCアカデミックユーザーアソシエーション(CAUA)

## 会場案内

UDXカンファレンス type120 D

住所 東京都千代田区外神田4-14-1

電話 03-3254-8421

## 交通アクセス

- JR秋葉原駅電気街口より 徒歩2分
- つくばエクスプレス秋葉原駅A3出口より 徒歩3分
- 東京メトロ日比谷線秋葉原駅2番出口より 徒歩4分
- 東京メトロ銀座線末広町駅1番または3番出口より徒歩3分
- 地図URL <http://www.udx-c.jp/access.html>



**CAUA FORUM 2015**  
**「大学におけるサイバーセキュリティのこれから」**

**プログラム**

14:30- 14:40	<p><b>【オープニング】</b> 後藤 滋樹 氏（早稲田大学教授、CAUA会長）</p>
14:40- 15:30	<p><b>【基調講演】</b> 「大学における情報セキュリティ対策と情報セキュリティポリシーの浸透」 岡部 寿男 氏（京都大学学術情報メディアセンター 長）</p> <p>大学におけるキャンパスネットワーク運用の歴史はセキュリティインシデントへの対応の歴史でもあった。インターネットの導入が早期行われた大学ほど、キャンパスネットワークはオープンで、かつ草の根的な運用がなされ、セキュリティ対策は困難と言われてきた。本発表では、そのような大学の典型例である京都大学でのこれまで事例をベースに、大学における情報セキュリティ対策と情報セキュリティポリシーの浸透について振り返りつつ、クラウド時代ともいわれる今日に大学がとるべき対策について考えてみたい。</p>
15:30- 16:20	<p><b>【講演】</b> 「サイバー攻撃の高度化に伴い限界を迎える従来対策技術」 高倉 弘喜 氏（国立情報学研究所 教授）</p> <p>高度標的型サーバ攻撃が珍しくなくなった現在、入口対策や出口対策では攻撃による被害が避けられなくなった。対策技術をどんなに高度化しても防げないことを前提に、被害発生 of 早期発見と早期対処の枠組みについて解説する。</p>
16:35- 17:25	<p><b>【パネルディスカッション】</b> 「大学の特性を踏まえたネットワークセキュリティの実現法」</p> <p>コーディネータ 安東 孝二 氏（株式会社mokka代表取締役社長、CAUA運営委員長）</p> <p>パネリスト 岡部 寿男 氏（京都大学学術情報メディアセンター長） 高倉 弘喜 氏（国立情報学研究所 教授） 本間 庸之 氏（パロアルトネットワークス） ※パネリストは50音順</p>
17:25- 17:30	<p><b>【クロージング】</b> 刀川 眞 氏（室蘭工業大学教授、CAUA運営委員）</p>
17:45- 19:00	<p><b>【情報交換会】（会費制）</b> 会費：CAUA会員、大学教職員…¥1,000. その他の方…¥2,000. 会場：UDXカンファレンス type120 E</p> <p>※講師との質疑、参加者同士の情報交換の場としてお役立てください。</p>